



副園長 奥村 綾

～グループ参観～

グループ参観が終了しました。保護者の皆さんは、園からの『～空気のような存在になって～』という趣旨をよくご理解いただき、園庭の端の方や、木の陰に隠れたり、窓からそっと様子をご覧になっている姿をお見かけしました。中には、子ども達から話しかけられて困っている方もおられましたが、できるだけ、普段の子ども達の遊びの様子を見たいという思いが伝わってきました。ご協力ありがとうございました。

子ども達の様子はいかがでしたか?おうちの方が来られても、全く気にせず、自分たちの遊びに夢中になる子もいれば、やはりおうちの方を意識してしまう子もいて、普段の姿が見られなかった方もいらっしゃるかもしれません。ただ、気づかれた方も多いと思いますが、この時期になると、それぞれ自分で遊びを見つけて、継続して遊び込んできたことで、さまざまな場所で遊びが発展している様子も見られたのではないのでしょうか。先生が入らなくても、自分達で鬼ごっこやリレー等のルールのある遊びや、異年齢で遊ぶ姿も見られたと思います。

～砂山遊び～

10月末頃、園庭に砂山が登場しました。最初は、上に登ったり、走って上り下りすることを楽しんでいました。スケーターで上から下りたり、段ボールやさら砂を作る容器に座って滑り下りることを考え出した子どももいました。うきうきタイム中に、数名で穴を掘ってトンネルを作ろうと試みましたが、少しの時間では、少ししか掘れず、すぐに断念しました。11月初旬の月曜日、砂山に大きく深い穴が3つありました。聞くと、土曜日にフリー保育やホームに来ていた子ども達が、長い時間をかけて根気よく掘った穴でした。そこから、その穴をもっと深く掘ろうと、足を突っ込んだり、水を少し流し入れて掘りやすくしながら、穴を繋げていきました。朝には繋がっていなかった穴が、友達と協力して掘り進め、中で繋がり1か所トンネルが出来上がりました。周りで見ていた子も、穴と穴から手を入れ、「すごーい!」とトンネルの中で手を繋いで喜んでいました。次の日の雨上がり、子ども達が山に登ってトンネルは崩れてしまいましたが、次は、ダム作りが始まりました。

「もっとそっちをせき止めろ」「こっちに土を持って来てー」「まだまだ水は流さんといて」

それでも水をどんどん入れる子がいて、ダムから水が溢れて流れそうになった時、

「あーもうダメだー」「幼稚園は終わったー」と、土を持って来るのをやめた子に対して

「まだまだ人生はこれからや」「人生あきらめるな」と声を掛け合う年長児の姿がありました。

日に日に、砂山での遊びは発展し、楽しさや面白さを味わっています。

子ども達の様子を見てみると、あちらこちらでささいなめ事がおこる事も日常茶飯事です。「あの子はずっとスケーターに乗っているのに全然貸してくれない」と言って来たので、声を掛けると「あと1周行ったら貸してあげるわ」と言ってなかなか戻って来なかったり、、、。

「あの子が水かけてきた」と言って来たので、なぜか聞くと「だって僕のことを食べるって言った来たから」と？の理由だったり、、、。このようにささいなことでもめめたり、時には人を傷つけるような言動も見られます。子ども達は、さまざまなやりとりを経験し、話し合いや意見交換等を通して、自分の気持ちを押し通したり、自分とは違う友達の考えに気づいたりして成長していきます。幼稚園は、さまざまなやりとりを通して、それぞれの感情をぶつけ合い、ケンカなどで辛い思いや、悔しい思いなど「実体験」ができる場所であることを、保護者の皆さんにご理解いただけるよう、今後も、写真や動画、クラスだよりなどを通して、目には見えにくい子ども達の育ちを出来る限りお伝えしていきたいと思ひます。

～職員研修について～

私たち職員は、1年を通じて、さまざまな研修に参加しています。他園の公開保育、対面研修、コロナ禍になってからはオンライン研修等、自分自身のスキルアップや保育の質の向上に努めています。

先日外部の講師をお招きし、『動画を通して子どもの育ちや思いを読み取る』園内研修を行いました。先ほど、この時期遊びが充実し、発展しているというお話をさせていただきましたが、中にはうきうきタイム中、まだまだ自分のしたい遊びが見つからずに時間だけが過ぎていく子や、自分からは遊びに参加しようとしないう子、また、準備や片付けの際に何をしたいか迷い時間がかかる子等、さまざまな様子が見られます。講師の先生から、そのような姿から、気持ちや思いを読み取り考える大切さや、対話の大事さ等、改めて教えていただきました。先生達は、その都度、子どもに問いかけたり、気持ちに寄り添い、共感したりしながら一緒に考えようとしていますが、まだまだ足りないことに気づき、その必要性を再確認することができました。今後も、見えにくいもの(気づき、思い、育ち)を言葉にすることで、子どもの姿を肯定的に捉え、一人ひとりの気持ちや思いを大切に保育していきたいと思ひます。

～ECEQ 公開保育について～

今年度本園では、幼児教育の質向上システム ECEQ (Early Childhood Education Quality System) による公開保育を、令和4年1月26日(水)に行うことになりました。

現在、幼稚園等を通じた質の高い幼児教育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培っていることが注目・期待されています。ECEQ 公開保育では、普段通りの保育の様子を、他園の保育者に見学していただき、意見交換をします。自分達だけではわからない自園の良さや、課題を見つけ、保育の更なる質の向上を目指すための公開保育です。公開保育当日は、午後から、他園の先生方との意見交換の時間を取りますので、午前保育(11時半降園 ホーム・のびのびあり)となります。保護者の皆様の、ご理解、ご協力をよろしくお願ひします。